

**要望事項 (優先順位 修学院1, 上高野1)**

白川通を運行する市バスの均一運賃区間化について

**要 旨**

(修学院学区)

白川通を運行する市バスは、経路の一部が均一運賃区間から外れているため、下車時のトラブルが多発し、渋滞やダイヤの乱れの原因となっています。

具体的には、「一日乗車券カード」を持っていても追加料金が発生することから、観光客等との間でトラブルが起こり、下車時間がかかっています。特に海外からの旅行者の場合、言葉が通じないため、非常に時間がかかります。

修学院学区を通る北8系統、5系統、31系統、65系統について、国際会館までは均一運賃区間としていただきますよう、要望いたします。

観光客や、急いでいる地元住民のためにも、バスの運行がスムーズに行くよう、対応をお願いいたします。

(上高野学区)

市バスの均一運賃区間を花園橋まで広げていただくよう、要望します。

市内南部は淀や中書島まで、西部は嵐山や大覚寺まで、北部は西賀茂や上賀茂神社まで均一運賃区間なのに、左京区の北東方面に向かっては一乗寺止まりで修学院すら区間外であるのは、不公平を感じます。

現在、花園橋から四条河原町まで280円、京都駅前まで350円かかります。70歳以上には敬老乗車証のサービスがありますが、65歳から69歳の年金生活者にとって、交通費の負担はとても大きいものです。65歳から69歳は、動けるし動きたいのです。

また、岩倉方面に向かって、市街地化がどんどん進んでいます。

修学院、上高野地域も均一運賃区間にさせていただくよう、お願いいたします。

回 答

**(交通局)**

岩倉、修学院、上高野地域におきましては、同地域を先行して運行してきた京都バスの運賃に合わせて、後発である市バスの運賃を設定しております。

同地域への均一運賃区間の拡大につきましては、路線が競合している京都バスの経営に与える影響が大きいことから、京都バスと協議し、御理解を得ながら慎重に検討を進めていく必要があります。

頂戴いたしました御要望につきましては、今後の事業運営の参考とさせていただきますので、何卒御理解いただきますようよろしくお願い申し上げます。